

2

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3 R 週間」^{アール}

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深こくなえいきょうをあたえていることに^アひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えを^イあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3 R 週間」を提案します。3 Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3 R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをうたしかめしましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3 R週間 チャレンジ表

3 R	具体的な行動
減らそう	☐ バッグを持参し、レジぶくろをもらわない ☐ ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす ☐ コップから飲み、ストローを使わない
リデュース (Reduce)	☐ 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす ☐ ☐
くり返し使おう	☐ シャンプーは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う ☐ 液体石けんは詰めかえ用を買い、容器をくり返し使う ☐ ☐
リユース (Reuse)	
資げんに変えよう	☐ ペットボトルをあらい、せん用の場所にすてる ☐ 食品用のトレイをあらい、せん用の場所にすてる ☐ ☐
リサイクル (Recycle)	

※問題は、次のページに続きます。

一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、【下書き①】の最初に の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

2 身近にある具体例を最初に書いている。

3 行動することの重要性を最初に書いている

4 全体を要約した文章を最初に書いている。

1

A black and white line drawing of a young boy with short dark hair, wearing a long-sleeved shirt. He is sitting at a desk, writing in a notebook with a pen. To his left is a stack of books.

○【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 岩田さんが 何という本から言葉や文を取り上げて書いたのか分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は

字数にふくむ。

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくてはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物びせいぶつによって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

けれども、

30字

80字

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級の人々が取り組んだことを紹介するため。
- 3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にもらうため。
- 4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行してもらうため。

解答らん

四 岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

解答らん

ア

※問題は、次のページに続きます。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

解答らん

五 岩田さんは、【下書き①】で、Aの文の……部と部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きました。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

解答らん

イ

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをウたしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

解答らん

ウ

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

2

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3 R 週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにア ひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイ あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3 R 週間」を提案します。3 Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれません。しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3 R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかを うたしかめしましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3 R週間 チャレンジ表

3 R	具体的な行動
減らそう	☐ バッグを持参し、レジぶくろをもらわない ☐ ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす ☐ コップから飲み、ストローを使わない
リデュース (Reduce)	☐ 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす ☐ ☐
くり返し 使おう	☐ シャンプーはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う ☐ 液体石けんはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う ☐ ☐
リユース (Reuse)	
資げん に変えよう	☐ ペットボトルをあらい、せん用の場所にすてる ☐ 食品用のトレイをあらい、せん用の場所にすてる ☐ ☐
リサイクル (Recycle)	

※問題は、次のページに続きます。

―岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、【下書き①】の最初に の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 疑問に思ったことを最初に書いている。

2 身近にある具体例を最初に書いている。

3 行動することの重要性を最初に書いている

4 全体を要約した文章を最初に書いている。

解答らん

2

二 岩田さんは【下書き①】の に、プラスチックがずつと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を採^{さが}し、本を見つけました。次は、その【本の一部】です。 に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのが分かるように書くこと。

書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。



岩田さん

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくてはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物びせいぶつによって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

け	れ	ど	も	例	「	プ	ラ	ス	チ	ツ	ク	
の	ひ	み	つ	」	と	い	う	本	に	よ	る	
と	、	プ	ラ	ス	チ	ツ	ク	は	ほ	と	ん	
ど	が	石	油	か	ら	作	ら	れ	て	い	る	
の	で	、	自	然	の	中	で	は	分	解	さ	
れ	ず	に	、	ず	っ	と	残	っ	て	し	ま	
う	そ	う	で	す	。							

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級の人々が取り組んだことを紹介するため。
- 3 3Rを家族で分担し、自分の役割を明確にもらうため。
- 4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行してもらうため。

解答らん

4

四 岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

- (1) 部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

解答らん

ア 非常

※問題は、次のページに続きます。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

解答らん

例 行動することだと思います。

五 岩田さんは、【下書き①】で、Aの文の……部と部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きました。

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

解答らん

イ 3

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをウたしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

解答らん

ウ 2

(2) 部イとウを書き直したものととして適切なものを、次の1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。